

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項												
中期目標		中期計画		年度計画（令和5年度）		事業実績及び課題（事業報告書から）			評価			
(3)　へき地の医療対策												
■府中市民病院による巡回診療の実施		●府中市民病院による巡回診療の実施		○府中市民病院による巡回診療の実施		《府中市民病院》				○	○府中市民病院は、市内2カ所への巡回診療を継続し、へき地医療拠点病院としての役割を果たしている。 ○2病院での法人化のメリットである医師の派遣をはじめとした病院間の連携が図られている。 今後はへき地医療支援病院との連携をさらに強化するよう努められたい。	
■へき地医療支援病院との連携強化		●へき地医療支援病院との連携強化		○府中北市民病院への医師派遣の継続 ○へき地医療支援病院との連携強化		・準無医地区での巡回診療を継続して実施 ・府中北市民病院への内科常勤医師の派遣を継続した。						
				☆医療機能等指標に係る数値目標		【医療機能等指標に係る実績数値】						
				・府中市民病院 巡回診療　200人		・府中市民病院 巡回診療　235人 府中北市民病院への常勤医師派遣 1名						
						2年	3年	4年	5年			
						実績	実績	実績	目標	実績		
				府中市民病院	巡回診療	175	223	250	200	235		
(4)　周産期医療対策、小児医療対策												
■妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援に必要な医療提供体制の構築		●妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援に必要な医療提供体制の構築		○妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援に必要な広域医療提供体制の役割を担う。		・両病院とも指標の目標数値を達成できなかったが、婦人科及び小児科の外来診療を維持した。				○	○指標に係る数値目標には達しなかったが、「女性予防医学チーム」による市の保健事業との連携した活動など、数値に表れない活動に取り組んでいる。 ○府中市民病院における広島大学病院からの小児科の非常勤医師による外来診療の維持をはじめ、両病院で婦人科及び小児科外来診療を維持している。 市内で不足する婦人科や小児科の常勤医師の確保に向け、引き続き市と連携した医師の招聘に取り組まれたい。	
■二次医療圏域内の医療機関との役割分担の明確化		●二次医療圏域内の医療機関との役割分担の明確化		○両病院での外来診療・婦人科検診の維持		・府中市民病院の婦人科では、「女性予防医学チーム」が市の保健事業と連携して活動						
■外来診療・婦人科検診の維持及び医師確保の取組		●外来診療・婦人科検診の維持及び医師確保の取組		○府中市民病院内の「女性予防医学チーム」によるアプローチで女性の健康を支える。		【医療機能等指標に係る実績数値】						
				☆医療機能等指標に係る数値目標		・府中市民病院 婦人科外来　2,500人 婦人科検診　900人 ・府中北市民病院 婦人科外来　350人 婦人科検診　90人						
						2年	3年	4年	5年			
						実績	実績	実績	目標	実績		
				府中市民病院	婦人科外来	2,749	2,490	2,327	2,500	2,308		
					〃　検診	809	828	685	900	731		
				北市民病院	婦人科外来	429	337	319	350	319		
					〃　検診	77	82	75	90	75		
				評価：		◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない						
						○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている						

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

[illegible]

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項							
	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）		事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
2	(1) 市民病院の今後のあり方					△	●総務省が策定を求めていた「公立病院経営強化プラン（中期計画）」は策定したが、年度評価で言えば、年度計画に掲げているこの項目にどう取り組んだかなどの具体が見えてこない。今後は年度計画に掲げた内容に対してどのように取り組み、どのような結果となったかを明らかにすること。
病院の役割に応じた医療機能の確保	■新たな市民病院の将来像と地域医療のあり方について、関係機関等と協力して検討すること。 ■新たな将来像については、高度急性期や専門的な診療機能を担う医療機関に円滑に繋ぐ仕組みの構築に寄与すること。 ■検討結果の令和2年度中の取りまとめと公表。	●両病院の将来像と地域医療のあり方について、関係機関等と連携して検討する。 ●医師をはじめとした必要な医療機能を備えた体制の整備と経営の効率化による持続可能な病院経営を目指す。 ●令和2年9月に検討結果を、同年度末に最終報告をすると同時に公表する。	○両病院は、福山・府中二次医療圏の北部（府中地区）に必要な病床、診療科を確保する。 ○両病院は、民間で十分提供できない医療を積極的に行うことで地域医療提供体制の役割を担う。 ○必要なり両機能を備えた体制を整備するとともに経営の効率化を図り、持続可能な病院経営を目指す。		・両病院は、それぞれの診療圏域における地域完結型の医療提供体制の維持に努める。。		
	(2) 今後の地域医療連携の方向性					△	
	■市内で完結できない医療機能の確保策については病院の将来像に合わせて検討をすること。 ■他医療機関との連携の枠組みや両病院の具体的体制について病院連携の先進事例を十分に研究しながら検討すること。 ■地域医療連携の方向性については広島県地域医療構想や備後圏域における広域連携検討等との整合を図ること。	●両病院は各診療圏域における地域包括ケアシステムの構築をふまえた必要な診療機能の確保に努め、果たすべき役割を明らかにする。 ●市内で完結できない医療機能の確保策については病院の将来像に合わせて検討し、地域医療連携の方向性について広島県地域医療構想や備後圏域における広域連携検討等との整合を図りながら、他医療機関との連携の枠組みや両病院の具体的体制について病院連携の先進事例を十分に研究しながら検討する。 その一つとして、医師会圏域を中心に二次医療圏北部を連携区域とした地域医療連携推進法人の設立を視野に入れる。	○両病院は各診療圏域における地域包括ケアシステムの構築をふまえた必要な診療機能の確保に努め、果たすべき役割を明らかにする。 ○市内で完結できない医療機能の確保策については病院の将来像に合わせて検討し、地域医療連携の方向性について広島県地域医療構想や備後圏域における広域連携検討等との整合を図りながら、市及び地区医師会等と調整・検討する。 ○上下地域においては、引き続き備北圏域の拠点医療機関との連携に努める。		・それぞれの診療圏域における地域包括ケアシステムの構築に向けて、広島県地域医療構想及び市の高齢者保健福祉総合計画・介護保健事業計画と整合性を図りながら、引き続き公的病院としての役割を果たしていく。 ・府中市民病院は、府中地区医師会圏域の医療連携により地域完結型の医療提供体制の維持に努め、地域で完結できない医療は二次保健医療圏内の医療機関との連携により確保に努める。 ・府中北市民病院は、圏域外の備北及び尾三圏域の医療機関との連携により地域の医療を支える。		
評価：			◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない		○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている		

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項						
	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
	(3) 取り組むべき医師確保策					
	■大学病院、行政機関や近隣の中核病院への協力要請にこれまで以上に努め、必要な医師の確保に努めること。 ■寄付講座の開設など新たな医師確保策の積極的な検討 ■市の医師育成奨学金奨学生のキャリア形成に向けた取組への積極的な協力	●大学病院、行政機関や近隣の中核病院への協力要請等、必要な医師確保に努める。 ●市の医師育成奨学金奨学生のキャリア形成に向けた取組への積極的な協力	○大学病院、行政機関や近隣の中核病院への協力要請等、必要な医師確保に努める。 ○市の医師育成奨学金奨学生のキャリア形成に向けた取組への積極的な協力 ☆医療機能に必要な常勤医師数 ・府中市民病院 内科 10人 整形外科 3人 外科 1人 婦人科 2人 麻酔・救急科 1人 小児科 2人 泌尿器科 1人 耳鼻咽喉科 1人 眼科 非常勤 精神科 非常勤 ・府中北市民病院 内科 3人 整形外科 1人 外科 非常勤 婦人科 非常勤 小児科 非常勤 泌尿器科 非常勤 耳鼻咽喉科 非常勤 眼科 非常勤	・大学病院、行政機関や近隣中核病院への継続的な要請活動により、医師の確保に努めたが、令和5年度は新たな医師の招へいはなかった。 【医療機能等指標に係る実績数値】 ・府中市民病院 内科 6人 整形外科 2人 外科 2人 婦人科 1人 麻酔・救急科 1人 小児科 非常勤 泌尿器科 1人 耳鼻咽喉科 1人 眼科 非常勤 精神科 非常勤 ・府中北市民病院 内科 2人 整形外科 1人 外科 非常勤 婦人科 非常勤 小児科 非常勤 泌尿器科 非常勤 耳鼻咽喉科 非常勤 眼科 非常勤	○	○医師招へいについては、市と連携し様々な取組を行ったが純増となる医師の確保ができなかった。 ただし、府中北市民病院における自治医大卒医師の派遣継続など、一定程度の成果はあったところである。 近隣の中核病院への協力要請をはじめとしてまだまだ取り組める可能性があるため、引き続き市と連携して様々なアプローチに努められたい。
			評価：	◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない	○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている	

大項目 3：業務運営の改善及び効率化に関する事項

	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）		事業実績及び課題（事業報告書から）					評価		
1	(1) 患者満足度調査の実施とそれに伴う接遇の向上											
業務運営の改善及び効率化に関する事項	■定期的な患者満足度調査の実施と必要な改善	●定期的な患者満足度調査の実施と必要な改善	○両病院で患者満足度調査を定期的に実施し必要な改善につなげる。調査は毎年度実施し、調査、集計・分析、公表、改善を繰り返し、患者満足度向上を図る。 ○職員の接遇向上及び「思いやりの心」「おもてなしの心」の向上に積極的に取り組む。また定期的に接遇委員会を開催し、接遇向上意識の醸成に努める。 ☆評価の指標に対する計画 令和5年度指標項目 ・満足度調査の実施 1回			・外来患者及び入院患者への患者満足度調査を実施。 ・調査・集計・分析、公表、改善を繰り返すことで患者満足度の向上を図っている。 ・患者サービス向上委員会を毎月実施するとともに、職員対象の患者満足度向上に向けた接遇研修会をインターネットを活用したeラーニングや動画視聴により実施（府中市民）。 【医療機能等指標に係る実績数値】 令和5年度指標項目 ・満足度調査の実施 1回 前年度比較 満足度0.1%上昇 不満足度0.1%減少					○	○令和5年度の患者満足度調査では、前年度に比べ満足度が0.1%上昇、不満足度が0.1%減少したのは努力に対する成果と考える。 患者満足度調査の実施が目的ではなく満足度の向上が目的であるので、向上に向けた接遇研修などの取組を継続して実施し、市民から選ばれる病院となるよう努められたい。 ○職員が集まる形式での研修開催が難しい中、eラーニングや動画視聴による研修等、工夫しながら実施されていることは評価できる。
	■職員の接遇向上及びホスピタリティ向上への積極的な取組	●職員の接遇向上及び「思いやりの心」「おもてなしの心」の向上への積極的な取組	満足度調査		2年	3年	4年	5年				
			実績	実績	実績	目標	実績					
		府中市民病院	実施回数	1	1	1	1	1				
	(2) 市民への積極的な情報発信											
業務運営の改善及び効率化に関する事項	■外来診療表・休診情報や職員紹介等の身近な情報の発信とホームページの更新	●外来診療表・休診情報や職員紹介等の身近な情報の発信とホームページの更新	○外来診療表・休診情報や職員紹介等の身近な情報の発信とホームページの更新に努める。 ○病院まつり等のイベント開催時期の配慮と内容の充実を図る。 ○府中市広報の特集記事として、両病院の特徴的な情報を発信する。 ○地域の介護事業所等と協力して地域情報紙「ええじゃん上下」の発行を継続し、地元根ざした地域活動の紹介等に努める（府中北市民病院）。			・市広報へ特集記事「病院機構だより」を定期的に掲載 ・両病院のホームページ更新					△	●取組としては前年度より後退している印象。ただ情報を発信するのではなく、利用者に欲しい情報が届くような取組に努められたい。そういった意味で、今後予定されている両病院のホームページのリニューアルに期待するものである。
	■病院まつり等のイベント開催時期の配慮及び内容の充実	●病院まつり等のイベント開催時期の配慮及び内容の充実										
	(3) 安心・安全な医療提供体制の確立											
業務運営の改善及び効率化に関する事項	■職員の医療安全対策の意識向上、医療事故・院内感染の発生・再発防止に向けた組織的な取組	■職員の医療安全対策の意識向上、医療事故・院内感染の発生・再発防止に向けた組織的な取組	○職員の医療安全対策の意識向上、医療事故・院内感染の発生・再発防止に向けた取組を組織的に行う。 ○個人情報保護や情報公開等に関しては国のガイドラインや病院機構の規定等に基づき適切に対応する。			・医療安全対策委員会を毎月開催し、インシデント・アクシデントレポートの共有により医療安全対策の意識を高めている。 ・個人情報保護に関する新人研修、継続した個人情報保護研修会を実施している。					○	●個人情報保護や医療安全対策については、機構全体としての取組が必要であるため、今後も継続的な取組に努められたい。
	■個人情報保護や情報公開等に関するコンプライアンスの徹底	■個人情報保護や情報公開等に関するコンプライアンスの徹底										
		評価：	◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない			○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている						

大項目3：業務運営の改善及び効率化に関する事項						
	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
2 組織としての経営の専門性の向上	■外部評価等を積極的に活用し、目標の達成に必要な改善に取り組むこと。 ■病院経営の専門的知識や経営感覚に優れた人材を確保・育成し経営の専門性を高めること。	●外部評価等を積極的に活用し、目標の達成に必要な改善に取り組む。 ●病院経営の専門的知識や経営感覚に優れた人材を確保又は育成し経営の専門性を高める。	○月2回開催の病院運営会議において中期目標等に掲げる目標達成に必要な改善に取り組む。 ○病院経営の専門的知識や経営感覚に優れた人材を確保又は育成し経営の専門性を高める。 ○役職の兼務をせず、専任で配置することにより事務部門の安定化を図る。	・令和5年度から市からの派遣職員のいない病院運営となった。 《府中市民病院》 ・月2回開催する病院運営会議において幹部職員による意見交換を活発化することで、中期目標等に掲げる目標の達成に必要な改善に取り組んだ。 《府中北市民病院》 ・院長、事務長、看護部の三者協議を週1回定例で開催し、その協議結果を毎月開催の病院運営会議で共有することにより病院運営の安定を図った。。	○	●実施している取組については引き続き実施されたい。ただし、人材を確保・育成し経営の専門性を高める点についてはもう一段の取組を求めたい。。
3 業務管理（リスク管理）の充実	■行動規範と職員倫理の確立 ■監事による監査など業務管理の見直しと課題の改善 ■公益通報制度等の適切な運用による病院運営の透明性の確保	●行動規範と職員倫理の確立 ●監事による監査など業務管理の見直しと課題の改善	○幹部職員の行動規範と職員倫理再確認のための研修を実施する。 ○監事による監査など業務管理の見直しと課題の改善を図る。	・関係法令の遵守はもとより、行動規範と職員倫理の確立に向けた取り組みとして、特に、両病院においてハラスメントアンケート調査と研修会を実施した。	○	
4 働きやすい職場環境の整備	■働き方改革に対応した勤務制度の構築と勤務し易い院内環境の整備	●働き方改革に対応した勤務制度の構築と勤務し易い院内環境の整備及び短時間正職員制度や限定正職員制度などの活用による人材確保	○働き方改革に対応した勤務制度の構築と勤務し易い院内環境の整備及び短時間正職員制度や限定正職員制度などの活用による人材確保に努める。	・両病院で定期的に職員満足度調査を実施し、それぞれの病院で働く職員の仕事、職場環境や組織に対しての満足度を把握し、働きやすい職場環境の改善を図っている。	○	
5 人事制度の効果的な活用	■効果的な人事評価制度の導入	●効果的な人事評価制度の導入	○効果的な人事評価制度の導入を検討する。 ○他病院の人事評価制度を参考にするなど、人事制度の効果的な活用を検討する。	・効果的な人事評価制度の導入に向け、引き続き人事制度の効果的な活用を検討する。	×	●検討を行ったのか、行ったとすればどのような検討を行ったのかが不明。
			評価：	◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない ○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている		

大項目 4：財務内容の改善に関する事項

	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価		
1 経営機能の強化による自立した病院経営	■中期目標期間中の経常収支均衡の達成 ■具体的な経営指標の数値目標の設定と達成状況の管理及び類似する他病院との比較などによる経営上の課題の把握とその改善	●中期目標期間中の経常収支均衡の達成 ●類似する他病院との比較などによる経営上の課題の把握とその改善	○中期目標期間中の経常収支均衡を達成する。 ○類似する他病院との比較などによる経営上の課題の把握とその改善に努める。 ☆評価の指標に対する計画（令和5年度） ・経常収支比率 101.1% ・医業収支比率 100.8%	・市からの財政支援として、7,000万円の追加繰入金、4,500万円の補助金を受け、収支計画の8,300万円の黒字目標に対して3,600万円の赤字決算となり、経常収支比率は、101.1%の目標に対して99.1%の実績となった。 ・医業費用の削減に取り組むとともに、院内すべての職員配置の見直しと、外来当直の廃止や病棟看護師の2交代制といった看護部の業務見直しなどに取り組んだ。 【医療機能等指標に係る実績数値】（令和5年度） ・経常収支比率 99.1% ・医業収支比率 98.7%	△		●収益面での両病院の医業収益の減少、費用面での物価高騰や人件費の上昇による財務内容の悪化のため、市からの追加の繰出しを行ったが赤字決算となった。 ○このような中、給与費削減の取組などを実施し、財務内容の改善に努めた点は評価したい。 ●年度計画などにある類似する病院との比較などによる経営上の課題の把握と改善に取り組み、その結果については市との共有を図りたい。
2 収入の確保と支出の削減	■効率的な病床利用や医療機器の稼働率の向上、積極的な収入確保の取組 ■診療報酬請求漏れ防止、未収金の発生予防及び管理・回収などへの適切な対策 ■両病院における医療品・医療機器等の共同購入や各部門の業務内容や実施体制の見直しによる支出の削減	●効率的な病床利用や医療機器の稼働率の向上、積極的な収入確保の取組 ●診療報酬請求漏れ防止、未収金の発生予防及び管理・回収などへの適切な対策 ●両病院における医療品・医療機器等の共同購入や各部門の業務内容や実施体制の見直しによる支出の削減	○効率的な病床利用や医療機器の稼働率の向上を図り、積極的な収入確保に取り組む。 ○診療報酬請求漏れ防止、未収金の発生予防及び管理・回収などに適切な対策を講じる。 ○両病院における医療品・医療機器等の共同購入や各部門の業務内容や実施体制の見直しによる支出の削減	・診療報酬の改定や医療制度の変革への的確な対応と効率的な病床利用を図り積極的に収入の確保に取り組んだ。 ・診療報酬の請求漏れ等の防止、未収金の発生予防及び管理・回収に対する適切な対策を行った。	○		○診療報酬改定への対応や検証などについてはよく取り組んでい る。引き続き検証を実施するとともに、取得可能な診療報酬の加算などには積極的に取り組まれたい。
3 源の計画的な投資と財	■建物や設備の改修、医療機器の整備・更新などの投資の中期目標期間中の整備・更新計画の策定と計画的な投資の実施 ■将来の設備投資に向けた財源の確保	●建物や設備の改修、医療機器の整備・更新などの投資の中期目標期間中の整備・更新計画の策定と計画的な投資の実施 ●将来の設備投資に向けた財源の確保	○建物や設備の改修、医療機器の整備・更新などの投資の中期目標期間中の整備・更新計画の策定と計画的な投資の実施 ○将来の設備投資に向けた財源の確保に努める。	・建物や設備、医療機器などの投資についてあらかじめ計画をし、事前に市と検討・協議した上で行っている。 ・投資に当たってh、計画を基本にしながらも、優先順位や財源確保を考慮した。	○		○整備・更新に係る投資については、基本的には計画的に実施している。
大項目 5：その他業務運営に関する重要事項							
	中期目標	中期計画	年度計画（令和5年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価		
1 的な市の施策への積極	■市の医療・健康・福祉関連施策に対する積極的な協力	●市の医療・健康・福祉関連施策に対する積極的な協力	○市の医療・健康・福祉関連施策に対する積極的な協力 ○今後も感染症拡大時には公的病院としての役割を果たす。	・市の医療・健康・福祉関連施策に対する積極的な協力した。	○		○感染拡大防止を目的としたワクチン接種への積極的な協力や、発熱症状のある患者の外来診療及び検査、入院患者の受け入れ等の取組の実施について、市として感謝する。
			評価：	◎・・・年度計画を上回って実施、 △・・・年度計画を十分に実施できていない ○・・・年度計画を順調に実施 ×・・・年度計画を大幅に下回っている			